

【Nチーム通信 2023 第4号】

10/14、10/15 に渡り成田市で県民大会が開催され、市川市からも男女各代表チームが参加しました。結果は、県協会ホームページにアップされているとおりですが、ここでは両日のNメンバーの活躍について、当日の様子を踏まえつつ、報告します。(Dはダブルス、Sがシングル)

男子

初日は男女ともベスト8決めまで(市川市は、男子は2回戦から、女子は1回戦からの出場)。

初日の男子の対戦相手は、「浦安市」でした。

【対浦安市(2回戦)】

1Dは、北村・福田組。今年からNチームに参入した両選手は、県協会主催の大会等でも上位進出する、トップレベルの選手です。

特に、福田選手は直前に行われた関東総合において、男子D3位に入るほどの実力を有する、期待のホープと言えます。結果、安定した試合運びで、2-0で快勝でした。

続くSは、担当理事の私がNチームのエースと推す八巻選手。1D同様、ミスも少なく、安心して見ていただける試合運びでした。勝敗は決しましたが、初日は2Dも行い、折原・村上組が登場。豪快なスマッシュが持ち味の折原選手と、軽やかなプレーが光る村上選手。この試合も快勝、翌日の準々決勝に駒を進めました。

《北村・福田組》



《八巻選手》



《折原・村上組》

【対千葉市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、強豪シードの「千葉市」。インハイ、インカレ出場経験選手を多数擁する、高い実力を誇る優勝候補の一角です。

1Dには、折原・福田組をオーダー。前衛、後衛のバランスが取れたDペアを送り出しました。千葉市には、複数のS強者がいるため、こちらもオーダーには苦慮しました。とは言え、千葉市は、オーダーをひっくり返すことなく、まさに王道を行くべく、1Dに強いペアを持ってきました。試合が始まると、やはり相当の強さ。攻守に渡る高いバランスと、一転、柔らかいプレーに苦しみました。最後まで競りましたが、0-2で勝ち切られました。続いて、Sには昨日に続き八巻選手の登場。相手は、やはりレベルが相当高いことで有名な選手（ちなみに、前述の福田選手が関東総合で3位になった時のパートナー）。試合は、序盤から点差が開くことなく、ポイントも行ったり来たり。一進一退の非常に高いレベルの試合展開を繰り広げます。最終的に、惜しくもファイナルで敗退しましたが、大健闘でした。

チームとしての結果は、0-2で敗退。昨年に引き続き、惜しくもベスト8で終了しました。

女子

初日の女子の対戦相手は、「長生郡」でした。（女子は、昨年度、ベスト8を失ったことから、1回戦からの出場です。）

【対長生郡（1回戦）】

1Dは、長野・藤川組。女子Nチームのスピード溢れる若手ペアです。相手をスピードと球回しで勝る市川市ペア。レシーブも安定しており2-0で快勝でした。続くSは、村上選手。過去の県民大会ではSでの出場経験も複数回あり、落ち着いた試合運びで、2-0で勝利。初日は2Dも行い、手島・山田組が登場。堅実なレシーブが持ち味のペアが、この試合も快勝。次の2回戦に駒を進めました。

《長野・藤川組》



《村上選手》



《手島・山田組》



《今大会、MVP 級の活躍、藤川選手》



【対松戸市（2回戦）】

昨年度、ベスト8決めで敗退した女子はチームにとっては、まさにこの試合こそ正念場と言えたかもしれません。県民大会はトーナメントのため、一度、ベスト8のシードを失うと、翌年度対戦する相手は初日から必ず強豪チームとなり、大変苦しい状況となります。

今回対戦した松戸市は、過去に何度も優勝しているとともに、県内トップクラスの選手が名を連ねる、まさに“強敵”です。

1Dには、手島・山田組の出場。相手の松戸市の1Dは、かつて全中で優勝したペア。長らく松戸市のエースペアとしてその存在が広く知られており、バドミントンをする方なら、一度は耳にしたことのあるビッグネーム。攻守ともに高いレベルと巧みな配球、安定感のあるフットワークと、どれをとっても全国レベル。こちらにも質の高いプレーでラリーの応酬となりますが、残念ながら0-2で敗退。続く、Sには、藤川選手を起用。初めての県民大会で、しかも久しぶりのSとなりましたが、学生選手の素早い試合運びに順応し、試合が進むごとにプレーの安定感が増して行きます。結果、なんと2-0のストレート勝ち。これには、送り出したチームも歓喜と感動。まさに今大会のMVPとなりました。1-1で回ってきた2Dには、満を持して長野・村上組のエースペアの投入。相手の2Dも非常にレベルが高かったものの、勢いに乗った市川市ペアが終始優位に試合を進め、2-0のストレート勝利。見事、昨年度のベスト8決めで敗退の雪辱を晴らし、翌日の準々決勝へと進出しました。

【対千葉市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、女子も「千葉市」。S、Dともレベルの高い選手を擁する、優勝候補との対戦となりました。

オーダーは、昨日と順番を入れ替え、1Dに長野・村上組の出場。最初からガチンコ勝負を挑みました。対する千葉市は、元S Jリーガーのいるペア。男性の私が見ても非常に速いスマッシュを、お互いに確実にレシーブし合う、まさに県民大会ならではの、質の高い試合が展開されました。結果は、全力を尽くしましたが、残念ながら0-2で敗退。続くSには、昨日の勢いそのままに藤川選手の登場。相手は背が高く、どこに打っても返してくるイメージ。予想通りレベルが高いラリーのやり取りが進みます。慣れないSも、最後まで必死に食い下がります。最終的には、ストレートで敗退しましたが、終始ナイスゲームでした。藤川選手は、今回の県民大会で非常に成長したことと思います。

最終結果は、0-2。昨年の成績から一歩前進し、ベスト8となりました。

最終結果は、男女ともベスト8でした。

前回の成績と比較し、男子は同一、女子は一歩前進となりました。やはり、ベスト8から先は非常にレベルが上がりますが、どのチームも極端な差は無いものと考えており、その“あと一歩”をなんとか縮めたいと思っています。

女子チームの奮闘もあり、なんとか男女ともシード枠を確保することは出来ましたが、市川市としての人口比を鑑みると、ベスト4以上が本来の立ち位置とも言えます。

今後は、まず、松戸市より招待を受けた「アザレア杯」で結果を残し、令和6年に予定する「市川 Special 大会」「郡市リーグ大会」で良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

引き続き、ご声援の程、宜しくお願いいたします。



《1日目の試合を終えて（全体写真）》